

鶏農家の方々へ

「家畜の糞尿臭いの対策方法」

～独自開発、自然由来の「消臭ソイル」の使い方～

鶏(糞)の諸問題点

鶏糞は水分が少なく、尿の分別はありません。一般的に養鶏場の構造は二階に鶏を飼育し、糞を下部に落とし、集積して乾燥室に移動し、乾燥後、糞肥料としているか、又は燃烧しているのが現状であります。糞肥料として販売は低単価で、手数量にもならないのが現実であり、焼却をするには燃料費が加算するのが現状であります。鶏糞は**硫化水素**の濃度が、**約3000ppm**の濃度であり、浄化污水处理を行うには濃すぎるので、処理が困難であり、養鶏場の近隣は、臭いの苦情などで環境状態は深刻な状況になっている現状であります。

(対策解決方法)

1.糞肥料活用の場合

糞の中に**消臭ソイル**を散布するとアンモニア臭及び硫化水素の臭いが減少し、糞の発酵期間が短縮されます。糞が発酵後、**消臭ソイル**は栄養分の吸着した土であり、作物には土壤改良に活用できます。環境改善にも貢献できます。

(分量は約800羽、糞1トン当り目安、消臭ソイルを4kg散布とする)

2.食べさせる場合

1)糞に**消臭ソイル**を散布する方法もありますが、散布するタイミングと、発酵する期間中に臭いが放散する可能性があり、散布の管理が生じてくる弱点があります。鶏に**消臭ソイル**を食べさせる提案もあります。鶏は胃の中に石や砂を飲み食物を砕き、消化器官が短く食物の栄養の吸収が少量で糞の臭いが強烈になります。**消臭ソイル**を一日約1羽当り5g食物と共に体に入り、体内の中でアンモニア、硫化水素の発生を減少し、糞の臭いが減少します。管理が容易であり、糞肥料として活用しても土壤改良になり、環境改善と共に貢献できます。

(サンプルご希望は特別格安で提供いたします)

連絡先:担当篠崎 携帯:090-7792-1045 Mail:info@eco-hi.jp